

北九州市立門司海青小学校
稲葉博司

一斉学習 児童生徒発表型

実践タイトル 電子黒板を活用したプレゼンテーションで互いの考えを高め合う学習

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

電子黒板

・自分たちが考えた自動車のプレゼンテーションを聞く側に、より分かりやすいように効果的に提示して発表できるようにする。

静止画

・自分たちが考えた自動車をプレゼンテーションを活用して根拠を示して発表できるようにする。また、グループが発表した自動車のよいところや問題点について話し合う。

参考にしてほしいポイント

- ・児童が電子黒板等を活用して、これからの自動車に関するプレゼンテーションを行う。
- ・プレゼンテーションの中にキーワードや具体的資料を配置することで、より効果的に自分たちの考えた自動車の根拠を分かりやすく発表する。
- ・発表した自動車について、よいところや問題点について、必要に応じ発表したプレゼンテーションを活用して話し合う。

本時の展開(主な学習活動)

| 学習の流れ(分) | 主な学習活動 | ICT機器・教材、コンテンツ等 |
|-----------------|---|-------------------------------------|
| 導入 0 10 | ・電子黒板で、自動車の発展など今までの学習内容の静止画を提示して学習を振り返り、学習課題を確認する。 | ・電子黒板 ・今までの学習の流れを示す静止画 |
| 展開 10 35 | ・前時にグループで考えた「自分たちの自動車」をキーワードや自分たちの考えの根拠となる資料を効果的に提示しながら発表する。 ・発表した自動車について、よいところや問題点について話し合う。 | ・電子黒板 ・児童が作成したプレゼンテーション教材(写真1・2) |
| まとめ 35 45 | ・各グループの発表から、これからの自動車づくりの視点を話し合う。 | ・電子黒板 ・児童が作成したプレゼンテーション教材(写真3) |



写真1: キーワードや考えの根拠となる資料を効果的に提示しながら発表



写真2: 発表した自動車についてよいところや問題点について話し合う



写真3: 各グループの発表からこれからの自動車づくりの視点を話し合う

ICT活用への児童生徒の反応等

- ・自分たちの考えた自動車づくりの根拠となる資料を効果的に提示して、説明する姿が見られた。
- ・児童からは、「各班の自動車づくりの根拠が分かりやすかった」「発表も楽しくできた」との声が上がった。
- ・各班の発表後、どんなことを目指した自動車づくりが大切かを改めて考え発表する姿も見られ、これからの自動車づくりの視点を見い出していくことができた。

活用効果

評価の観点

・社会的な思考・判断・表現

具体的容容

・自分たちが考えた自動車を根拠のある資料を拡大提示したり、書き込みしたりなどしながら発表することができた。

実践の手応え

- ・電子黒板を活用することで、発表する側はわかりやすく説得力があるように説明を工夫し、聞く側も自分たちの考えた自動車づくりと比べながら聞く姿勢が見られた。発表して終わりではなく、各班の発表を基に、これからの自動車づくりの視点を、児童自ら見い出させることができた。